

ホーム柵・人員配置を

宮本・清水氏
ら調査・要請

今月18日に視覚障害者の転落死亡事故が発生した阪急・上新庄駅（大阪市東淀川区）を22日、宮本岳志衆院議員、清水忠史前衆院議員、岩崎けんた大阪市会議員、辰巳孝太郎参院議員秘書らが視覚障害者の人と現場調査しました。



阪急では来年度中に十三駅の3～5番ホームにホームドアが設置される計画ですが、その他はまだ。上新庄駅では特別の対策はありません。阪急全体として改札口の広告ディスプレイでの注意喚起の表示頻度を上げるなど考えたいとのことです。

宮本議員らは、ホームドアの早急な整備、それまでのホーム人員配置などのマンパワーを活用することを申し入れ。この事故を受けて行った対策についての報告を求めました。

参加した視覚障害者は、「近くには支援学校があり、生徒だけでなく、教員も利用するし、OBも近辺に住んでいる。駅固有の条件も踏まえ、安全対策を急いで欲しい」と訴えました。

大門さん 京都丹後・与謝で業界・経済団体と懇談

地域経済活性化へ真剣な努力

大門実紀史参院議員は来年2月25日に京都府与謝野町で開く「丹後・与謝 地域経済の再生を語りあうつどい」に向け、20、21の両日、京丹後市、宮津市、与謝野町に調査に入り、5つの業界・経済団体と懇談、福祉施設を調査し、農協関係者から話を聞きました。



京丹後市の丹後織物協同組合では松本博之理事長らが対応。生産高、組合員が大幅に減少した下で「昔と今を比較しても何らの意味はない。未来志向で臨む」とし、新しい織物を世界にアピールしていることなどを紹介（写真・上）。丹後市商工会では「事業者が儲けることに前向きになってもらうため、提案し伴走したい」などの意欲が語られました。与謝野町商工会では地域経済活性化へ「やり過ぎと思えるほどいろんなことをやっている」とし、さまざまな努力が紹介されました。



年明けにも追加調査を行い、「つどい」へ生かしていくことにしています。調査には山内健・京都5区国政対策委員長、野村生八・党与謝地区委員長、京丹後市、宮津市、与謝野町の町会議員が同行しました。

要求実現へともに 清水・堀内さんと和歌山で懇談

清水忠史、堀内照文両前衆院議員は18日、党和歌山県委員会事務所で和歌山県・市議団、常任委員会と懇談。メガソーラーや風力発電計画による環境破壊、国土荒廃、産業衰退などの実態が語られ、



力を合わせて要求実現にとりくもうと話合いました。

近畿ブロック事務所ニュース

Tel06(6975)9111 Fax06(6975)9115

【府県・地区・地方議員御中】

No. 57(2017.12. 23)